

不要になった年賀はがきでジンバブエの女の子を支援 南山大学短期大学の学生有志グループが 国際 NGO プラン・ジャパンによる女の子のための寄宿舎建設プロジェクトに協力

「書き損じはがき・未使用はがきキャンペーン 2016」を実施している国際 NGO プラン・ジャパン（東京都世田谷区）の活動を応援するため、南山大学短期大学部（愛知県名古屋市）の学生有志は、集めた「書き損じはがき」から換金される寄付金でジンバブエの「女の子が安心して学ぶ寄宿舎建設」プロジェクトを支援します。

南山大学短期大学部が書き損じはがきで国際協力

年末年始の年賀状シーズンに、書き間違えたり、未使用のまま手元に残ったりしたはがきを有効活用しようと、大学生の有志がプラン・ジャパンのために「書き損じはがき」を収集し始めて今年で8年目。

南山大学短期大学部は4年連続での参加になります。南山大学とプラン・ジャパンは、日頃からインターンシップなどを通じた協力関係にあり、この「書き損じはがき」を通じた支援活動は、南山大学短期学部伊東研究室が行ないます。昨年は9,750枚のはがきが集まり、寄付額は約43万円になりました。これはリベリアの「女の子の教育への理解促進」プロジェクトに役立てられました。



南山大学短期大学部の学生有志たち

寄宿舎建設で女の子の通学を支援

南山大学短期大学部の学生有志による寄付は、ジンバブエでの「女の子が安心して学ぶ寄宿舎建設」プロジェクトに充てられます。ジンバブエ中部にあるミッドランズ州クエクエ郡の女の子たちは、学校に通うために平均で片道20キロの道のりを歩かなければなりません。女の子専用の寄宿舎の必要性について地域住民や地元行政の理解と協力を取りつけながら、女の子が学校に通い続けるための環境づくりを進めています。

お年玉年賀はがきの抽選が終わる1月17日以降は、不要な年賀はがきを途上国支援に活用するチャンスです。南山大学短期大学部の取り組みを取り上げていただきたく、掲載のご検討をよろしくお願いいたします。

詳細

【はがき受付〆切】 2016年（平成27年）2月1日（月）

【お送りいただくもの】 未投函の書き損じはがき／未使用はがき

【注意事項】 1) 未投函もしくは未使用の葉書を、封筒に入れてお送りください

2) ハガキに個人情報の記載がある場合は、マジックなどで該当部分を消してからお送りください

【送付先】 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 南山大学短期大学部 伊東研究室

【問合せ先】 プラン・ジャパン 03-5481-7100 www.plan-japan.org hello@plan-japan.org

プランは、国連に公認・登録された国際NGOで、プラン・ジャパンはその一員。アジア・アフリカ・中南米の51カ国以上で、学校建設、予防接種、職業訓練など、子どもたちの能力と可能性を育む地域開発活動を行っています。

このリリースに関するお問合せ先

公益財団法人プラン・ジャパン 広報担当 後藤／久保田

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22-1111F www.plan-japan.org

TEL: 03-5481-6517 FAX: 03-5481-6200 goto@plan-japan.org

